

大災害時代到来 ～ハザードマップ・避難場所の再確認を～

今年は気候変動が著しく、日本や世界で大洪水・氷河溶解・台風・地震など災害が百貨店化。不安な生活が常態化してきました。

線状降水帯・記録的短時間大雨情報・記録的暴風雨・土砂災害特別警戒区域など新しい単語も耳にします。避難準備情報も過剰気味の状況ですが、注意喚起は必要です。



ハザードマップ(駄科は青のみ)

最近では避難情報の発令が早くなってきています。避難場所は、川や崖から離れた頑強な建物が望ましいとされていますが、水害の場合は高い所に、土砂災害の場合は急傾斜地の反対の部屋へ、風害の場合は窓側を避けた部屋へ移動し、危険を避けましょう。災害対応に正解はありません。指定された避難所に必ず集まらなければならぬルールもありません。

家庭や地域ごとの実情に合わせた現実的な行動、早い時期に非日常から日常生活に復帰できる対応が、ストレスの少ない避難につながります。災害時には、「自分は大丈夫」の正常化バイアス(偏り)が働く可能性があるため、慢心は禁物です。自分自身で常に避難情報を発令し、近助・共助の気持ちを持つことが大切です。

風水害等は避難準備情報発令時・地震は震度5弱以上で竜丘災害対策本部を開設します。
(竜丘地域自治会 会長 下平 勝熙)



防災備蓄品の確認



日赤による公共施設のガラス飛散防止フィルム張り

ぶらきょろ隊に参加させていただいて



思い起こせば12年前、丘の子を見守る組織に参加させていただき、年間を通して数日の見守りをしてきました。それがいつの間にか子供たちと触れ合う楽しさに惹かれて、見守りに立つ日数が自然と多くなりました。

竜丘地域自治会、公民館、学校等が中心となり、丘の子を見守るぶらきょろ隊が作られ、一員として参加をさせていただきました。

この度、飯田警察署より子どもの見守りに対し、感謝状をいただき大変に驚いているところです。私にとりましては大変名誉な事ですが、この感謝状は関係者の方々が頂くところを、私が代表でいただいたものと受け止めております。関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

私自身は、子ども達から元気をもらい、関係者の皆様よりお力添えをいただく中で、丘の子にとって安心のできる地域であるよう、この素晴らしいぶらきょろ隊の活動にこれからも参加させていただきたいと思っております。
(桐林 小林 栄)

連載シリーズ 第8回 ～ 紹介します ～ 「大人の学校」



大人の学校で同年代の皆さんと一緒にあって、一時を過ごしませんか？その時間は、きっと楽しい時間となることでしょう。

大人の学校は、全員参加の講座を毎月開催（2月、8月休み）しております。現在120名の皆さんが、思い思いのクラブや講座に参加し、安全で安心な居場所として仲間同志が交流し過ごしております。

今抱える大きな課題は、会員の高年齢化（平均年齢78歳）と、会員数の減少です。若い方々の加入が無いことに加え、加齢による体調不良などの理由から、やむなく退会する方が年々増えているという状況によるものです。そのような中で、大人の学校を将来にわたって継続していくためにも、新しい加入者をお待ちしております。

元気に活躍している60歳以上の方。今、この時間を大切にしてください。大人の学校で交流しようではありませんか。ご希望の方は、ぜひ見学に来てください。お待ちしております。なお、見学や加入の申し込みは、竜丘公民館で受け付けています。
(大人の学校 運営委員長 今村 豊秋)

| | | | |
|-----------|---------|-------|---------|
| 書道 | 第2.4月曜日 | ハーモニカ | 第1.3月曜日 |
| 絵手紙 | 第2金曜日 | 健康体操 | 第1水曜日 |
| IT | 第2.4火曜日 | マレット | 第1木曜日 |
| もみじ（コーラス） | 第3木曜日 | 切り彫り | 第4水曜日 |
| 陶芸 | 第2.4土曜日 | | |



おひとり暮らし交流会 ～昼神温泉にて～

毎年、竜丘福祉健康委員会主催事業として恒例となっている「おひとり暮らし交流会」が、去る9月5日、昼神温泉にて開催されました。竜丘地区に住む、約130名のおひとり暮らし高齢者の方に案内を出して、本年度は31名の方にご参加いただきました。

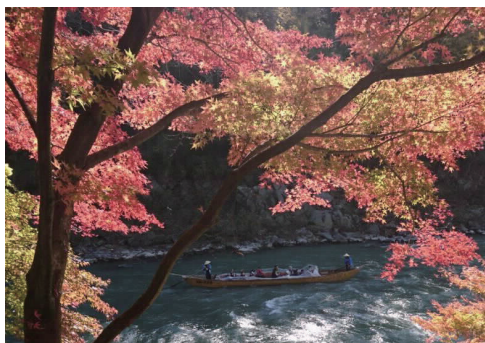
朝10時頃よりマイクロバスにて各地区をまわり、会場到着後、入浴などでくつろいだあと、長野原の林重直さんによるフラメンコギター演奏を鑑賞しました。昼食会では、それぞれに歓談しながら、料理を楽しんでいただけたと思います。食後は恒例のじゃんけん大会で盛り上がりました。

地域にとっても大切なこの事業に、より多くの方にご参加いただき、これからも継続されますように願っています。

(福祉健康委員長 塩澤 隆)



天竜川鶯流峡のもみじ ～先人たちの思いをつなぐ～



約80年前に先人たちが、青麻（あおそ）神社から大井川までの天竜川沿いに植えた紅葉が、鶯流峡の竹林整備により美しい姿を現しました。その紅葉を活かしたライトアップを、去る11月13日から25日にかけて、今回初めて実施しました。地域の皆様にも、先人たちの「もみじ」に託した思いを感じてもらいながら、地元の渓谷美をご鑑賞いただけたのではないのでしょうか。

(竜丘地域自治会)

